

平成23年度 (平成22年度分)		事務事業評価票					D 進ちょく管理型		No.		1004008	
I 事業の概要												
I-1 事業の概要												
事務事業名		焼却灰溶融施設整備					所管局部課等		環境政策局適正処理施設部施設整備課			
							(連絡先)		212-8500			
ホームページアドレス		http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/soshiki/5-4-2-0-0_2.html					(評価票作成者)		施設整備課長 森田弘之			
22決算額 (千円)		23予算額 (千円)		今後の方向性			24予算額 (千円)		事務事業の内容			
117,031		1,405,000		現状のまま継続			-		本施設は、埋立処分地を延命するため、各クリーンセンターから排出される焼却灰（集じん灰を含む焼却残さ）を1,200℃以上の高温で溶かし、その溶融物を冷却固化させることにより、焼却灰を減容化、安定化させて、最終処分量を削減する施設である。焼却灰は溶融処理され、溶融スラグとなり、元の容積の1/2程度に減容化するとともに、環境上の特性が安定するため、路盤材等の土木資材として有効利用が期待される。また、埋立処分地内の覆土材としての利用も可能である。早期の本格的な稼働を目指して、焼却灰処理能力330 t/日の焼却灰溶融施設を建設する。			
業務運営方法		■ 直営 ☐ 部分委託 ☐ 部分補助等 ☐ 全部委託 ☐ 全部補助等		委託(補助)先の名称、委託(補助)の内容								
実施根拠 (法令、条例、規則、要綱等)		廃棄物の処理及び清掃に関する法律 京都市循環型社会推進基本計画（2009－2020）					事務事業の 性格		■ 義務的事業 ☐ 任意的事業			
開始時期		平成 11 年度		終了(予定)時期 平成 23 年度		会計区分		■ 一般会計 ☐ 特別会計				
事業に関連する 実行計画等		■ 有 ☐ 無		計画名		焼却灰溶融施設整備計画		計画期間		平成11年度～平成23年度		
I-2 投入量												
年間経費等推移 (千円)		No.	区分			H20年度決算	H21年度決算	H22年度決算	H23年度予算	H24年度予算		
		①	事業費 (千円)			1,585,095	3,498,238	117,031	1,405,000			
			工事請負費（プラント・土木・建築）			1,232,289	3,426,438	109,152	1,398,000			
			その他（事務費、工事負担金等）			330,432	62,149	7,879	7,000			
		①'	委託料	(設計委託費等)		22,374	9,651					
		②	委託料が事業費に占める割合（①' ÷ ①） (%)			1.4%	0.3%					
		③	人件費（24年度は見込） (千円)			56,285	62,890	4,025	4,025	14,410		
			職員（課長級） (人)			1.50	1.50	0.03	0.03	0.21		
			職員（課長補佐級、係長級） (人)			1.10	1.10	0.20	0.20	0.59		
			職員（係員） (人)			3.10	4.05	0.20	0.20	0.73		
			嘱託職員等人件費 (千円)									
		④	年間経費（①＋②） (千円)			1,641,380	3,561,128	121,056	1,409,025	14,410		
		⑤	特定財源（市税等の一般財源以外） (千円)			1,054,352	3,783,351	112,867	1,398,000			
			国庫・府支出金 (千円)			53,150	464,747	9,579				
			その他(市債、業者水道代負担、資源物売却) (千円)			1,001,202	3,318,604	103,288	1,398,000			
		⑥	京都市年間負担経費（③－④） (千円)			587,028	▲222,223	8,189	11,025	14,410		

平成23年度
(平成22年度分)

Ⅱ 評価結果

事業名

焼却灰溶融施設整備

業績評価

A 進捗状況	平成20年度以前	平成21年度	平成22年度	平成23年度
実施状況	プラント工事 建築工事 電気設備工事 空調設備工事 衛生設備工事 昇降機設備工事 ガス負担金工事 電気負担金工事	プラント工事 建築工事 電気設備工事 空調設備工事 衛生設備工事 昇降機設備工事 電気負担金工事 太陽光発電設備工事 土木造成工事 ストックヤード建設工事	プラント工事 土木造成工事 ストックヤード建設工事	プラント工事
事業の進捗率	プラント(84%), 建築(53%), 電気(10%), 空調(2%) 衛生(15%), 昇降機(準備中), ガス負担金(100%), 電気負担金(70%)	プラント(99%), 建築(100%), 電気(100%), 空調(100%), 衛生(100%), 昇降機(100%), 電気負担金(100%) 他	プラント(99%), 土木(100%), スtockヤード(100%)	
進捗状況分析	・土木造成工事、ストックヤード建設工事については、平成22年7月に完了した。 ・平成22年6月からの本格稼働に向け整備工事を進めてきたが、平成22年4月に試運転中の排水から基準値を超えるダイオキシン類が検出されたため、学識経験者を含む対策チームによる原因究明と対応策の検討結果を踏まえ、より確実な安定稼働と安全を確保するための対策工事を実施し、平成23年1月に完了した。 ・試運転中に様々なトラブルがあったため、総点検を実施しているところである。			
B 環境保全及び環境負荷軽減の要素	☒ 環境 ☐ 関連 ☐ 一般	<現状分析、今後の方針等> 各クリーンセンターから排出される焼却灰を溶融し、冷却固化させ、焼却灰を減容化、安定化することで、最終処分量を削減し、埋立処分地を延命化する。		

Ⅲ 今後の方向性

現状のまま継続	(今後の方向性理由及び具体的な内容) 試運転中に様々なトラブルがあったため、総点検のうえ、プラントの安全性や安全稼働を確保する対策を徹底して進め、安心・安全な施設として稼働させる。
---------	---